

WEB 開催

100年に一度の大変革

～九州の自動車産業集積への影響と今後の展望

2020年10月8日(木)
18:30～19:30

1970年代の日産自動車の進出に始まり、現在、トヨタ自動車が「国内第二の拠点」と捉える九州は、「カーアイランド」として国内有数の自動車産業集積を誇ります。一方、「CASE」「MaaS」をキーワードとして、自動車産業を取り巻く環境は「100年に一度」と呼ばれる分水嶺に差し掛かっており、自動車の電動化・知能化・情報化の進展は自動車産業特有のサプライチェーンを大きく変化させ、従来の取引構造や産業集積、地域経済にも多大な影響を与えていると言われています。

本講演では、「電動化」を中心に九州の自動車産業集積への影響を考察するとともに、主として中小部品メーカーによる新たな事業や競争戦略の取り組みについて、具体的にご紹介します。

講師：田中 武憲 氏
(名城大学 経営学部 教授)



同志社大学経済学部卒。同大大学院経済学研究科博士後期課程満期退学。1999年に名城大学商学部専任講師。経営学部への改組後、専任講師、助教授、准教授を経て2009年から教授。専門は国際経営論、自動車産業論。地域産業集積研究所に所属し、愛知県のみならず九州や山陰、東北地方、海外などで現地調査活動を行っている。

参加費： 賛助・BIZCOLI 会員 無料
一般 1,000 円(クレジットカード決済のみ)

定員： 50名

締切： 10月7日(水)13:00
※事前のお申込が必要です

お申込方法：

九経調ホームページ(<http://www.kerc.or.jp>)
または QR コードよりお申し込みください。
お申し込みいただいた方へ、承認後に
参加用 URL がついた登録完了メール
が返信されます。

(※有料参加の方には、登録いただいた
メールアドレスにお支払いに関する
ご案内をお送りし、お支払い確認後
に参加用 URL をお送り致します。)

尚、当日資料は、セミナー開催 1 時間前にメールにて送付
いたします。

※1: ネット配信サービス「ZOOM」にてライブ配信致します。事前
のアプリインストール(無料)を推奨致しますが、それが難しい
方は、WEB ブラウザ(Google Chrome)からご参加くだ
さい。

※2: 参加者の映像・音声・お名前などは表示されません。

※3: 状況により、中止となる可能性があることをご承知おきくだ
さい。



お問い合わせ：九州経済調査協会(担当: 牟田・平田)
TEL: 092-721-4909
E-mail: bizcoli@kerc.or.jp

主催： 公益財団法人九州経済調査協会